

経済学部

Faculty of Economics

■入学定員／経済学科：昼間主120人・夜間主10人
経営学科：昼間主100人・夜間主10人
経営法学科：昼間主 85人・夜間主10人

- 経済学科
- 経営学科
- 経営法学科



実社会で活躍できる人材を。

経済学部は、旧制高岡高等商業学校を母体とし、90年を超える歴史と伝統を有しています。私たちは、個人を尊重する共生の精神を基礎に、国際的・歴史的視野からの学術研究の推進と、広い視野を備えた主体性と創造性に富む人材の育成を目指しています。2万人近い卒業生は社会の各分野で高い評価を得ており、男子・女子学生とも高い就職率を誇っています。

本学部は、経済学科・経営学科・経営法学科からなる総合学部として、履修コース制の下で、経済学・経営学・法律学の分野を横断的に

学ぶことができるようにしています。加えて、少人数制のゼミ教育（必修）の他に、中国、ロシア、韓国などの諸外国との交流、実際に企業で活躍している方々による寄附講義、外部講師による講義、インターンシップ（就業体験）の推進など、教育体制の整備を図っています。

また、主に社会人を対象の夜間主コースでは、昼間主コースと同じ4年間で学士の学位を取得できます。さらに、昼と夜の相互乗り入れ制度の利用で、学生の勉学条件に応じた多様な履修を可能としています。

👉このような人を求めています

社会科学の分野に興味・関心を持ち、次のような能力を身に付けて積極的に地域・国際社会に貢献する意欲がある人材を求めます。

- 問題解決能力や創造力
- 幅広い知識や専門的知識の修得
- 他者及び多様な文化を持つ者とのコミュニケーション能力

●入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)より
※各ポリシーの全文は、本学ウェブサイトに掲載しています。

👉このような教育を行います

- 1年次に、幅広い知識を身に付けるため、教養教育を実施する。経済学部では、専門的学識の修得基盤となる経済、経営、法律分野の導入科目を必修科目として実施する。
- 2年次から、幅広い知識と専門的学識を体系的に身に付けさせるため、学科横断的な7つの履修コースのうちいずれかに所属させ、各分野の基礎科目を選択必修科目として実施するとともに発展科目を実施する。コミュニケーション能力を身に付けさせるため、基礎ゼミナールを必修科目として実施する。

●教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

学部長からのメッセージ

経済学部長 福井 修



経済学部では、経済学、経営学、および法律学を学ぶことができます。

経済学は、世界の出来事を経済の視点で理論的、実証的、歴史的に分析・解釈し、問題を解決していきます。例を挙げれば、少子高齢化の進展、環境問題の深刻化と持続可能な発展、所得格差問題、為替レートの動きと輸出入への影響、等々です。

経営学は、さまざまな経営環境の中で企業が「人」、「物」、「金」、「情報」という四つの経営資源を利用して、どのように経営活動を行っているかについて探求します。理論のみならず、国内外の企業活動の事例も取り

入れて学習していきます。

法律学は法の解釈を学ぶことが中心ですが、法は古代ローマの時代から国家のルール、あるいは取引におけるルールとして社会においてなくてはならないものですから、大学においても中核的な学問分野であり続けています。

いずれも現在の社会で生きていくには、必須の学問であり、これらの素養がなければ毎日の新聞を読んで理解することもできないでしょう。経済学部ではすべての学生がこれら3分野の基礎を学び、広い視野を持って社会を生き抜く力を身に付けてほしいと考えています。

昼間主コースでは、経済学・経営学・法律学の専門知識を幅広く身に付けた人材育成を目指し、2年次から履修コース制を導入しています。学科によって選択できるコースに違いがあります。所属する学科にあわせて、4つの履修コースから1つを選択します。

社会経済システムコース

歴史的な視野を通じた社会制度・政治制度を含み経済学を中心に学びます。

国際・地域コース

グローバルに事業展開する企業とその背景を学ぶため地域間・国際間のビジネス・経済の特徴を経済学の視点から学びます。

ファイナンスコース

経済学、経営学、法律学の観点からファイナンスについて学際的に学びます。

戦略経営コース

戦略的なマネジメントの理論について実例を交え体系的に学びます。

企業経営と法律コース

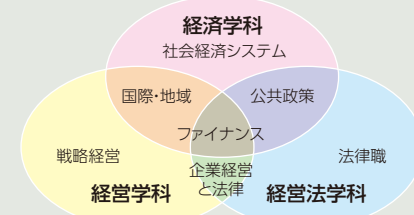
経営学・会計学・商学とともに企業経営に関連した法律科目をバランスよく学びます。

法律職コース

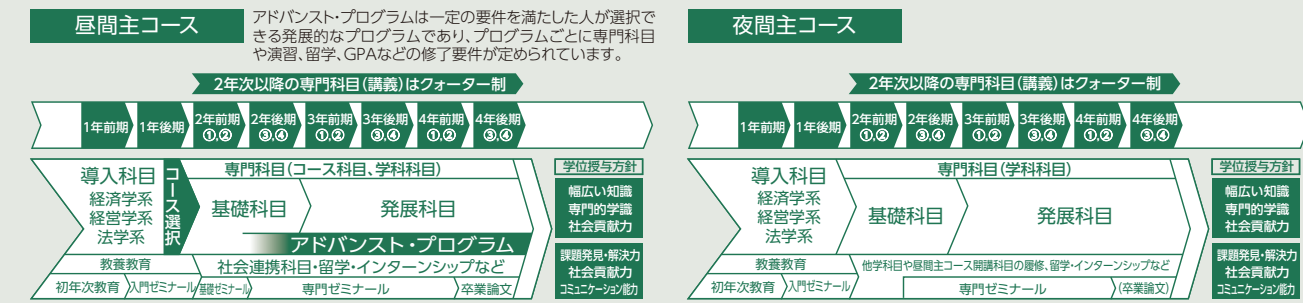
法律学を総合的かつ体系的に学び、基本的な概念・法技術を学びます。

公共政策コース

国・地方自治体の政策・行政について経済学、法学、政治学の観点から学びます。



学修の流れ



取得可能な免許・資格

〔資格〕全学科 ●社会調査士 ※所定科目の単位を取得することが条件です。

主な就職先

(2017年度卒業生)

- インテック ●NTTドコモ ●北陸電力 ●三協立山 ●ゴールドウイン ●LIXIL ●損害保険ジャパン日本興亜 ●北陸銀行 ●富山第一銀行 ●北國銀行 ●十六銀行 ●大垣共立銀行 ●名古屋国税局 ●金沢国税局 ●富山地方検察庁 ●富山労働局 ●富山県庁 ●岐阜県庁 ●富山市役所 ●高岡市役所 ●金沢市役所 など

【主な進学先】

北海道大学法科大学院、金沢大学法科大学院、明治大学大学院 など

※学部の卒業により税理士、社会保険労務士、公認会計士、不動産鑑定士等の受験資格取得、ビジネス・スクール、ロースクール進学等の多様な道への準備が可能です。

👉このような人を育てます

幅広い知識、専門的学識、問題発見・解決力、社会貢献力、コミュニケーション能力を身に付けている。

経済学部の情報や詳しいカリキュラムはこちらから



●卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)より